

【トップページの写真（その6）】



岐阜県恵那市中野方町の北西部（坂折地区）には、自然石を石積みして造られた「はしご田」と呼ばれる棚田（坂折棚田）が点在する、全国でも有数の景観があります。

戦国時代末期から江戸時代にかけて造られたこの棚田は、畦が1メートルから3メートルにもなる石積み技術の高さと美しさが特に有名で、これらは名古屋城の石垣を築いた「黒鍬（くろくわ）」という石工集団の手によるとされています。

棚田の中を流れる坂折川の上流には豊かな水源を育む湿地があり、ここから棚田へと豊富な湧水が供給されます。

四季折々、昼夜に趣が異なるその佇まいには心癒されるものがあります。

トップページの画像は、蒔苗友紀さまよりご提供いただきました。